

制御棒駆動機構補修室における水漏れについて

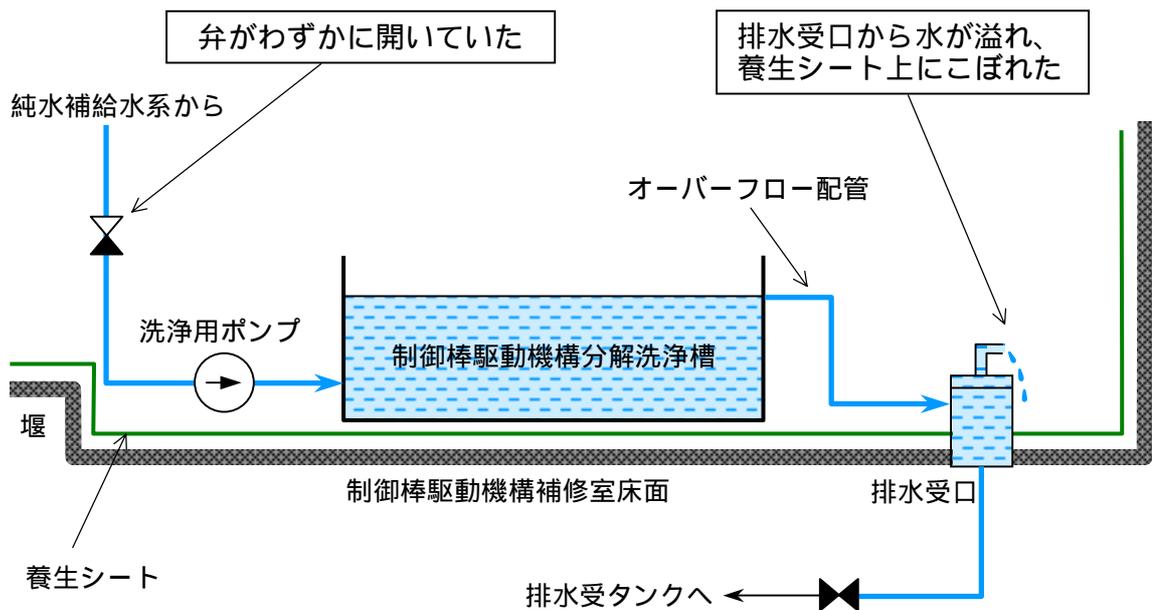
平成 15 年 7 月 30 日午前 1 時 30 分頃、原子炉建屋内の制御棒駆動機構補修室^{*1}内の床面に敷いている養生シート^{*2}の上に水がこぼれているのを発見しました。

こぼれた水は、原子炉圧力容器下部から取り外した制御棒駆動機構^{*3}を洗浄する分解洗浄槽のオーバーフロー配管排水受口から溢れた水で、量は約 6 リットル、放射エネルギーは約 5 万ベクレル（国への報告は 3 7 0 万ベクレル^{*4}）でした。こぼれた水は拭き取りました。

外部への放射能の影響はありません。

原因は、洗浄作業のためわずかに開けた洗浄用水を供給する弁を、作業終了後閉め忘れたことによるものです。今後、作業終了時に弁の開閉状態をチェックリストを用いて確実に確認するなど作業管理の徹底を図っていきます。

- * 1 放射性物質が他の区画へ漏出しないよう専用の堰を設置して他の区画と区分している
- * 2 水がこぼれることがあらかじめ予想される場合、こぼれた水による床等の汚染防止のために敷いたポリエチレン製のシート
- * 3 原子炉内の制御棒を動かすために制御棒 1 本毎に設けられた駆動装置。原子炉圧力容器の下部に取り付けられている
- * 4 漏えいが堰の中に止まる場合は、3 7 0 万ベクレルを超えても国への報告は必要がない



水漏れの状況